

1. 事業説明シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業【急傾斜地崩壊対策事業(国補)】	事業箇所	山梨市牧丘町室伏	地区名	室伏の4 (△ロフシノヨン)	事業主体	山梨県																																							
(1) 事業の概要 ①課題・背景 室伏の4地区は、山梨県北東部の山梨市牧丘町室伏に位置する急傾斜地であり、平成23年7月11日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。 当該斜面は、平均斜面高16m、平均勾配36度の急傾斜地で、保全対象には、要配慮者利用施設があり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。 ②整備目標・効果 <input type="checkbox"/> 主要目標 <input type="checkbox"/> 崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全人家戸数：要配慮者利用施設(そだち園)収容人数35人(換算人家戸数11戸) > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：無 ※評価基準値 <input type="checkbox"/> 副次目標 — <input type="checkbox"/> 副次効果 —				(3) 事業の妥当性評価				妥当 妥当でない																																						
				①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。				<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>		②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。		<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																		
(2) 整備内容 ①整備内容 重力式擁壁工 L=100m ②着手年度 令和4年度 ③完成見込年度 令和8年度 ④総事業費 約190百万円 (国費:85.5百万円(4.5/10)、県費:85.5百万円(4.5/10)、その他:19百万円(1/10)) ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和4年度 詳細設計、用地測量・調査 20 百万円 令和5年度 用地取得・補償 20 百万円 令和6年度 重力式擁壁工 50 百万円 令和7年度 重力式擁壁工 50 百万円 令和8年度 重力式擁壁工 50 百万円 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 未整備				③経済妥当性				<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																						
				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>190 百万円</td> <td>工期</td> <td>R4~R8</td> <td>基準年</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>166 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">1128 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>168 百万円</td> <td>一般資産被害</td> <td colspan="2">310 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">14 百万円</td> </tr> <tr> <td>過去工事費用</td> <td>百万円</td> <td>人的被害</td> <td colspan="2">99 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">705 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">6.8</td> </tr> </table> ※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている				総事業費	190 百万円	工期	R4~R8	基準年	R3	経済効率性	費用	166 百万円	便益	1128 百万円		建設費	168 百万円	一般資産被害	310 百万円		維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	14 百万円		過去工事費用	百万円	人的被害	99 百万円					その他※	705 百万円		B/C			6.8		
総事業費	190 百万円	工期	R4~R8	基準年	R3																																									
経済効率性	費用	166 百万円	便益	1128 百万円																																										
	建設費	168 百万円	一般資産被害	310 百万円																																										
	維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	14 百万円																																										
	過去工事費用	百万円	人的被害	99 百万円																																										
			その他※	705 百万円																																										
B/C			6.8																																											
⑤整備手法の有効性 地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。 ⑥環境負荷等への配慮 環境負荷の少ない工法を採用する。 ⑦事業計画の熟度 地元要望に基づいており、山梨市から受益者負担金の同意は得られている。				総合評価				[貢献度ランク:b]																																						
				(4) 事業位置図等 																																										

2. 添付資料シート

【平面図】

計画範囲



土砂災害警戒区域



土砂災害特別警戒区域



保全対象人家



要配慮者利用施設



そだち園 (収容人数:35人)
換算人家戸数11戸



【写真】 斜面状況



【写真】 保全対象：要配慮者利用施設（そだち園）



【標準横断面図】

